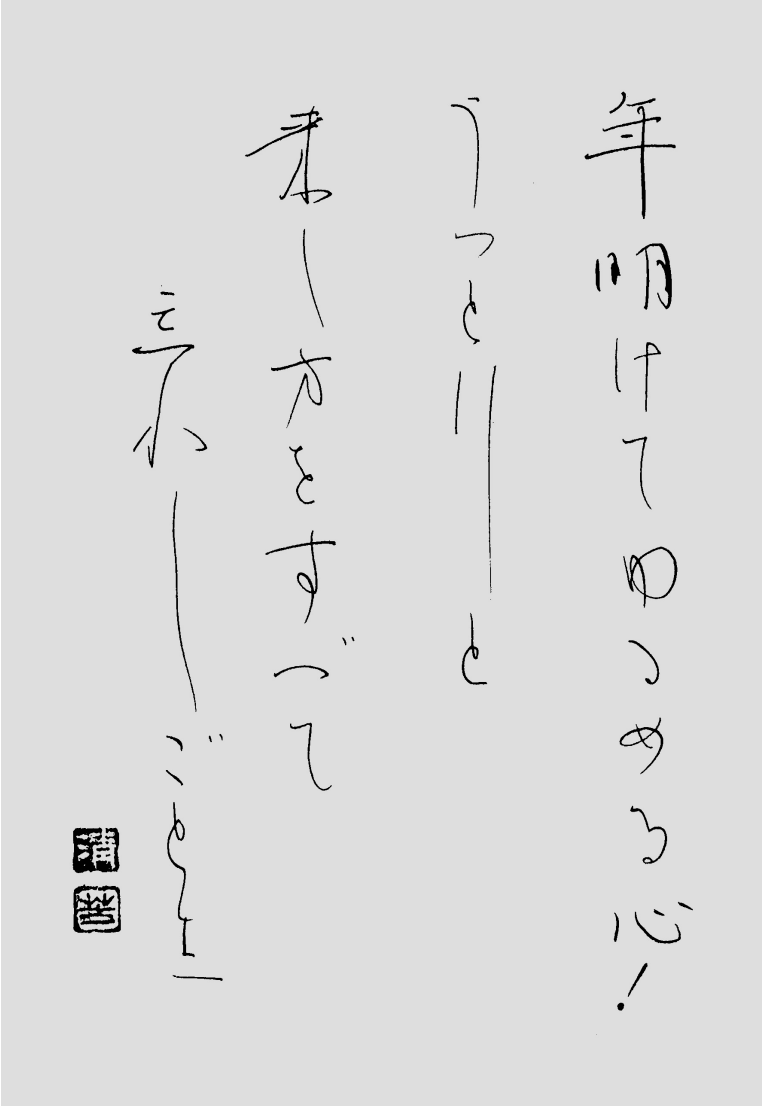
漢字かな交じり文を書く（13）

締切り　一月二十五日（必着）



奥村憲照先生書

◎書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり文」の三つがあります。今月から、この「漢字かな交じり文」を学びます。

◎実用書としてはあたり前のことですが、芸術書としては比較的新しい分野で、近代詩文書とか調和体と呼ばれています。団体によっては、新和様とか新書芸という呼称もあります。

◎出典は不明ですが、新年を迎えての心情を表現した「ペン字の書き初め」といった小品です。特に「り」「し」などの長い線の変化とスピードに注目して下さい。こういう線が表現できれば、作品効果は一気に高まります。

◎誰にでも読めて、言葉の感動をストレートに表現できる「漢字かな交じり文」の世界をお楽しみ下さい。

※落款（氏名）も作品の一部として、作品の最後に書き入れて下さい。（雅印のみも可）

□作品の出し方

▼硬筆部＝B5判（二五七㎜×一八二㎜）以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）

▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。筆ペンも可です。

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

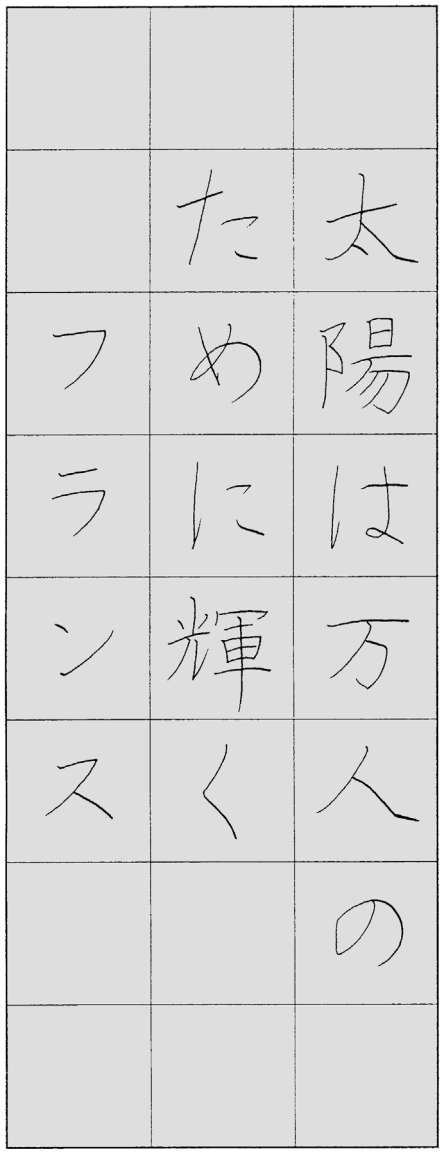
▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の成績）を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

一般部規定課題

締切り　1月25日（必着）

新入から1級まで

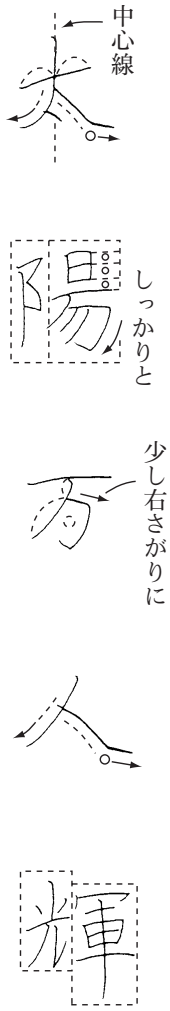


大谷清城（おおたに せいじょう）書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

〔解　説〕



★太陽は…（書体＝楷書）

フランスのことわざ

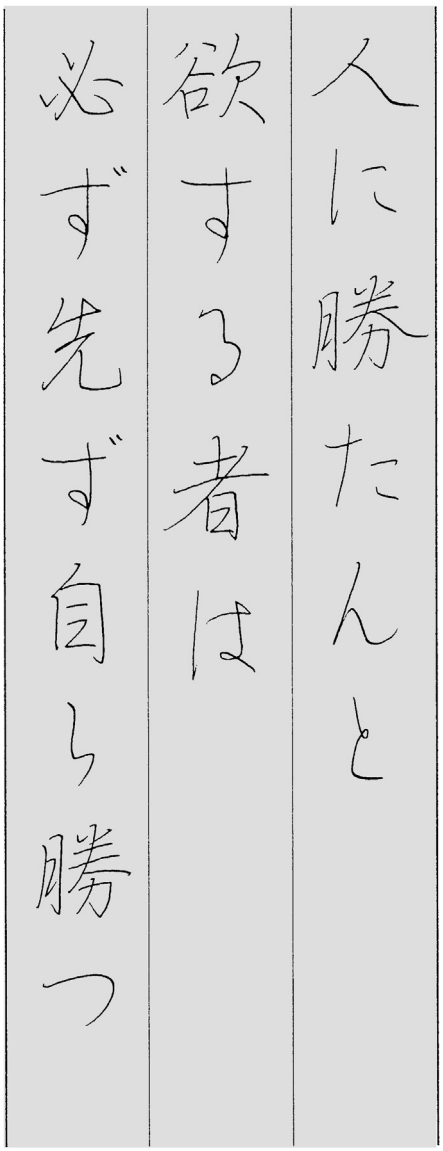
ラテン語起源のことわざで、フランス語以外の言語にもある「万人のための」ことわざです。

この世では人間みな平等であり、だれもが幸福になる権利があることを意味しています。新約聖書にも「天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽を昇らせてくださる」とあります。

◆**2月課題予告**（行書）

知識は
あらゆるものの
万能薬である

準初段から六段まで

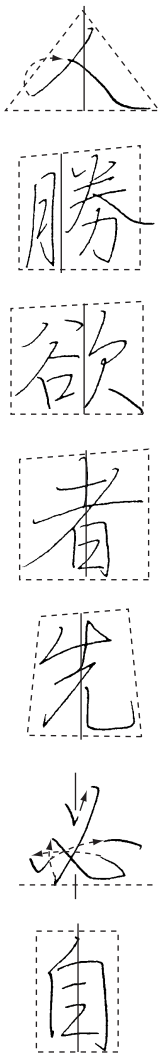


岡田龍芳（おかだ りゅうほう）書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解　説〕



▶**教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。**

〔習気（しゅうき）〕同じ字を繰り返し練習した結果、惰性にまかせて同一の表現をしてしまう気分をいう。習気が出ないよう新鮮な気持ちで。

★人に…（書体＝行書）

『呂氏春秋（りょししゅんじゅう）』より　中国秦（しん）の呂不韋（ふい）が学者の著作を編集したもの

自分の心に勝てなくては、他人に勝つことは難しいということ。他人に勝とうと思うなら、必ずまず自分の心に起こる様々な誘惑に打ち勝たなければなりません。そして「他人を知ろうと思う者は、まず自分を知らなくてはならない」と続きます。

◆**2月課題予告**（行草または草書）

人間は自然に
服従しながらも
自然を支配する

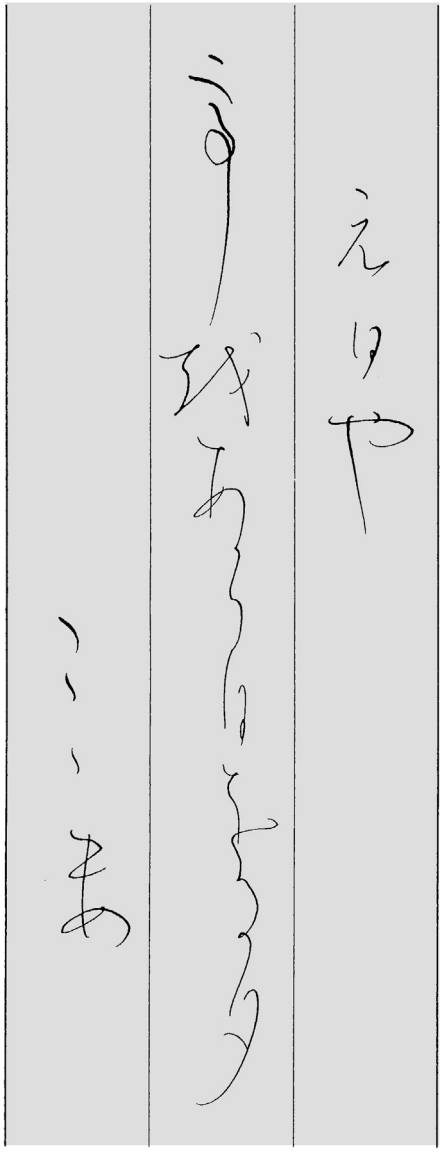
▼教範・書範＝行書

▼師範＝楷書

一般部かな課題

締切り　1月25日（必着）

準初段から六段まで



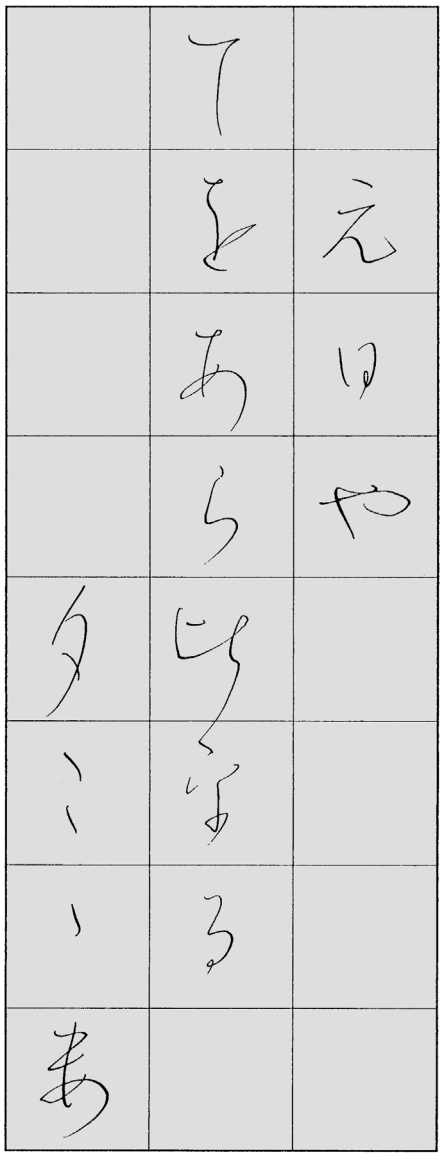
元日や手を洗ひをる夕ごころ
亭越日　妻

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

大宮春兆書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会段位用紙

新入から１級まで



元日や手を洗ひをる夕ごころ
比乎　妻

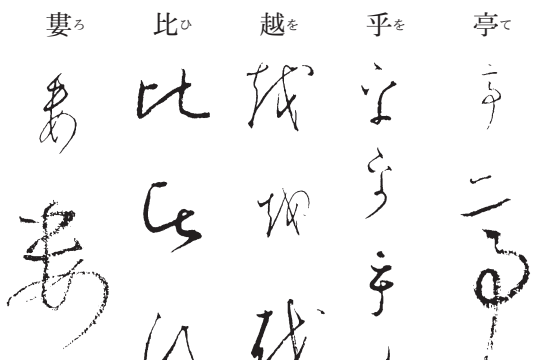
大宮春兆書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会級位用紙

元日や手を洗ひをる夕ごころ
（芥川龍之介）

〔句意〕元日の年賀の客を送り出し、手などを洗いながら、ふと庭の方を眺めやると、日はいつしか西に傾き、夕暮れどきが迫っていることである。

〔古筆参考〕



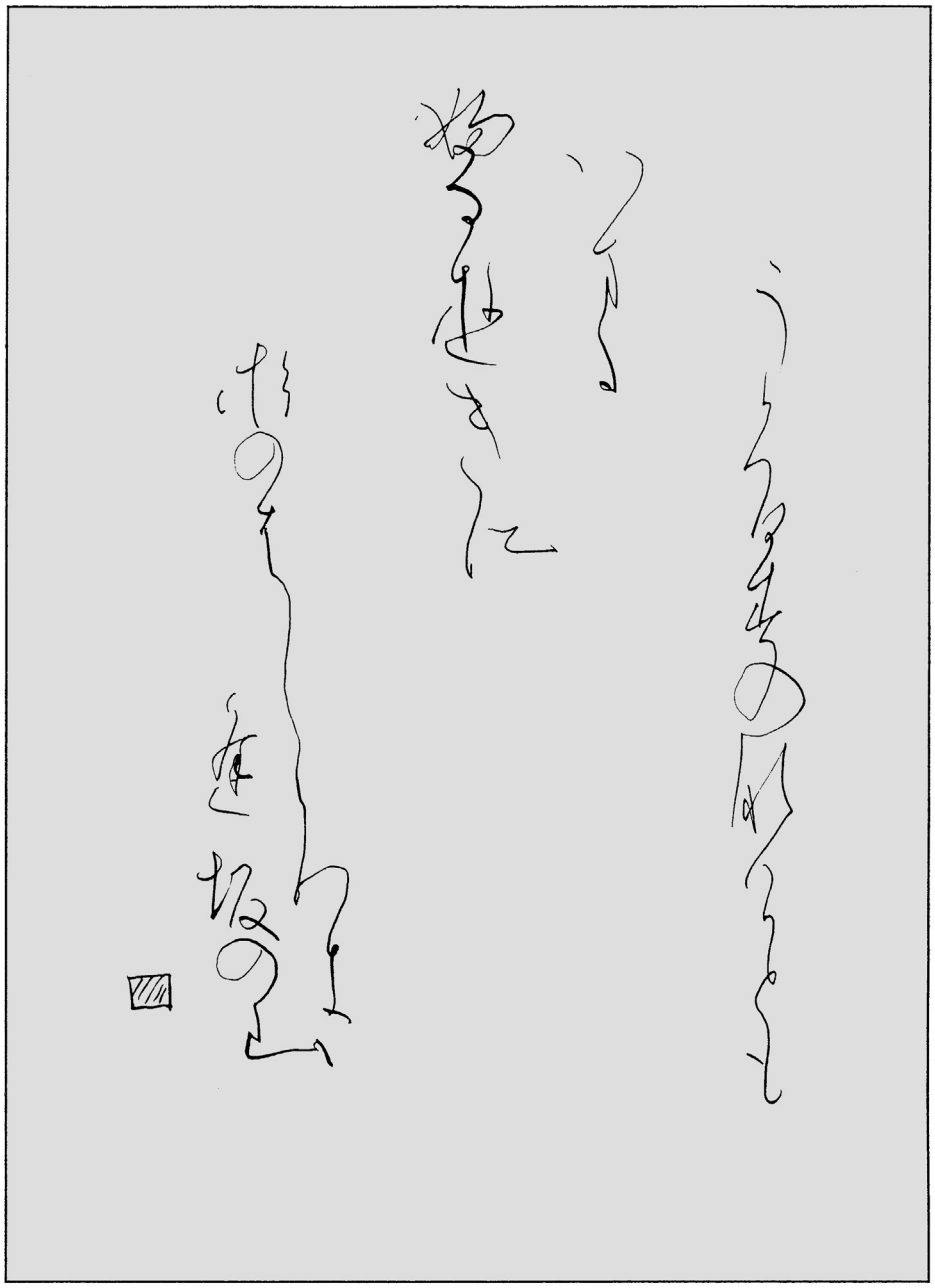
亭　乎　越　比　妻

角川携帯かな字典より

◆2月課題予告

夕月や納屋も厩も梅の影
（内藤鳴雪）

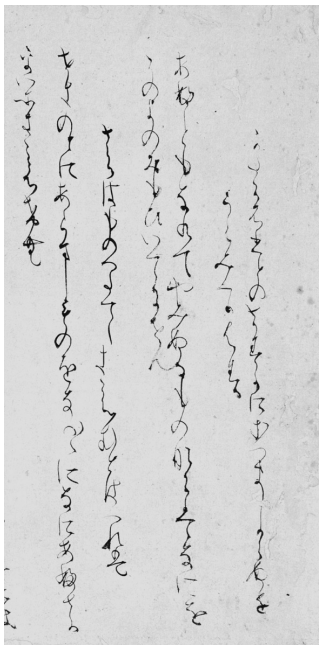
締切り　一月二十五日（必着）



簗瀬舟香書

〔古筆参考〕

針　切



かたらふひとの、さすがにむつまじからぬを、
うらみつかはす
あふこともなくてやみぬるものならばなにを
このよのおもひいでにせん
さらば、ものへだてゝきこえむと、はべれば
せきのとにあらましものをなか〳〵になにあふさか
をいそぎこえけむ

「はじめに」

明けましてお目出度う御座居ます。「かな」手本を担当させて頂きましてもう七年目に入ります。この辺で気持ちを新たに「温故知新」、今一度古典歌に戻り「針切」で味付をし、それを現代風にアレンジして楽しみたいと思います。皆様ご一緒に楽しみつつ学ぼうではありませんか。

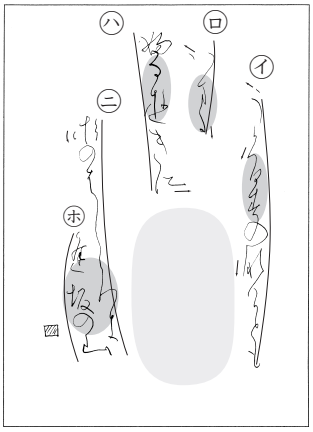
うぐひすの鳴けどもいまだふる雪に
杉の葉しろき逢坂の山

太上天皇

〔歌意〕 鶯は鳴くけれども、まだ降っている雪のために、緑の杉の葉も真っ白な逢坂の山。

〔出典〕 新古今和歌集（新潮日本古典集成）

〔解説〕



- ㋑と㋩、㋑と㋭、㋺と㋩、㋺と㋭、㋩と㋭、㋩と㋭、それぞれ呼応。
- 行の中の密の部分（高まり）、一行の中の疎密に注意。
- ◯大きな間が大切。
- ↙の方向大切（指向性）。

◆2月課題予告

草も木も降りまがへたる雪もよに春待つ梅の花の香ぞする

（新古今和歌集　右衛門督通具）

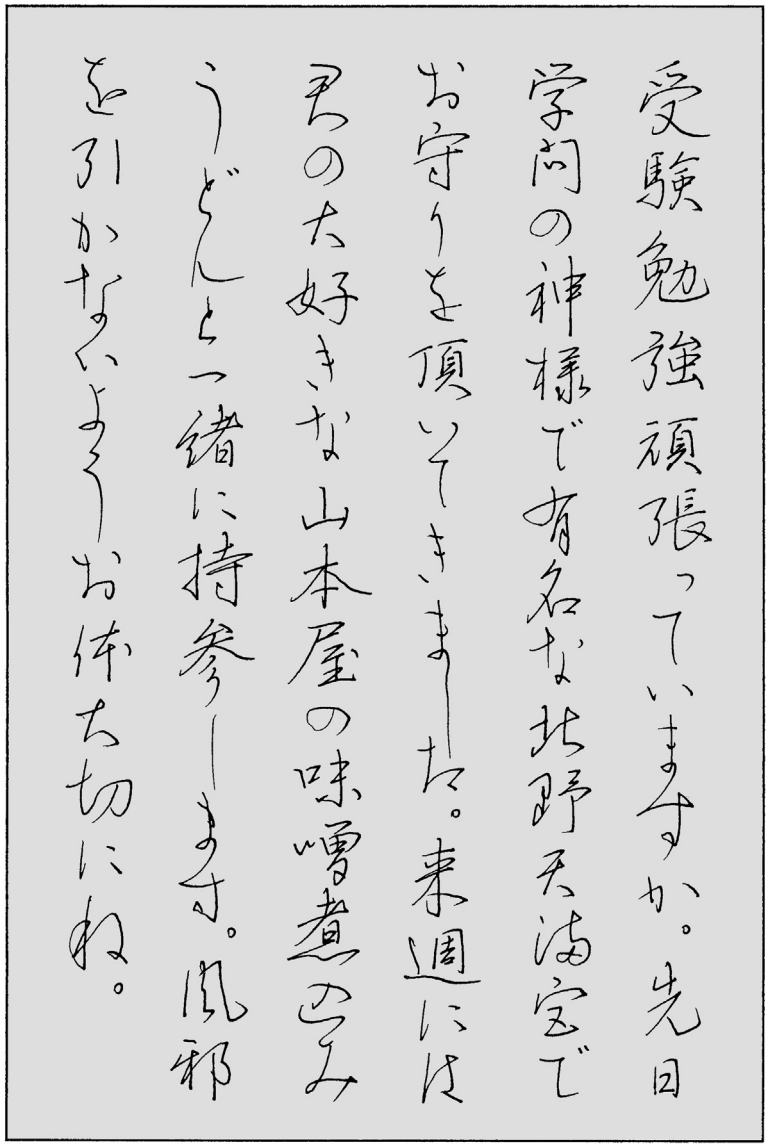
実用文のページ

はがき課題

奥田三雲（おくだ みくも）書

締切り　1月25日（必着）

受験勉強頑張っていますか。先日学問の神様で有名な北野天満宮でお守りを頂いてきました。来週には君の大好きな山本屋の味噌煮込みうどんと一緒に持参します。風邪を引かないようお体大切にね。



◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。

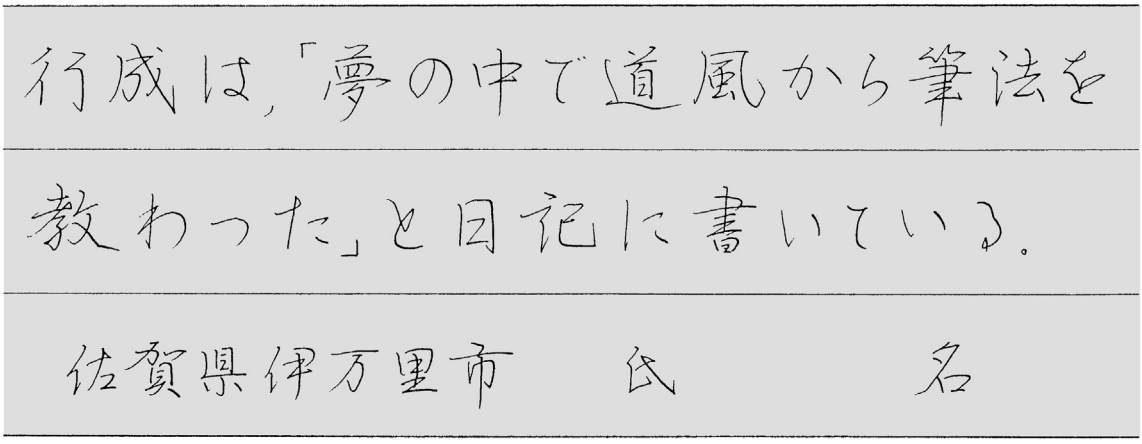
■用紙＝はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。

■用具＝はがき、横書き課題ともに自由。（黒色に限る）

■両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

岡嶋桂川（おかじま けいせん）書



※手本は、つけペン使用。　★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り　1月25日（必着）

新入から1級まで（楷書）

澤（さわ）　静雨（せいう）　書

〔読み〕青松終古の春

〔大意〕みさおを変えぬ青々たる松は、永久の春を成している。

準初段から師範まで

奥村（おくむら）　暢之（のぶゆき）　臨

之尊朱戸渠門

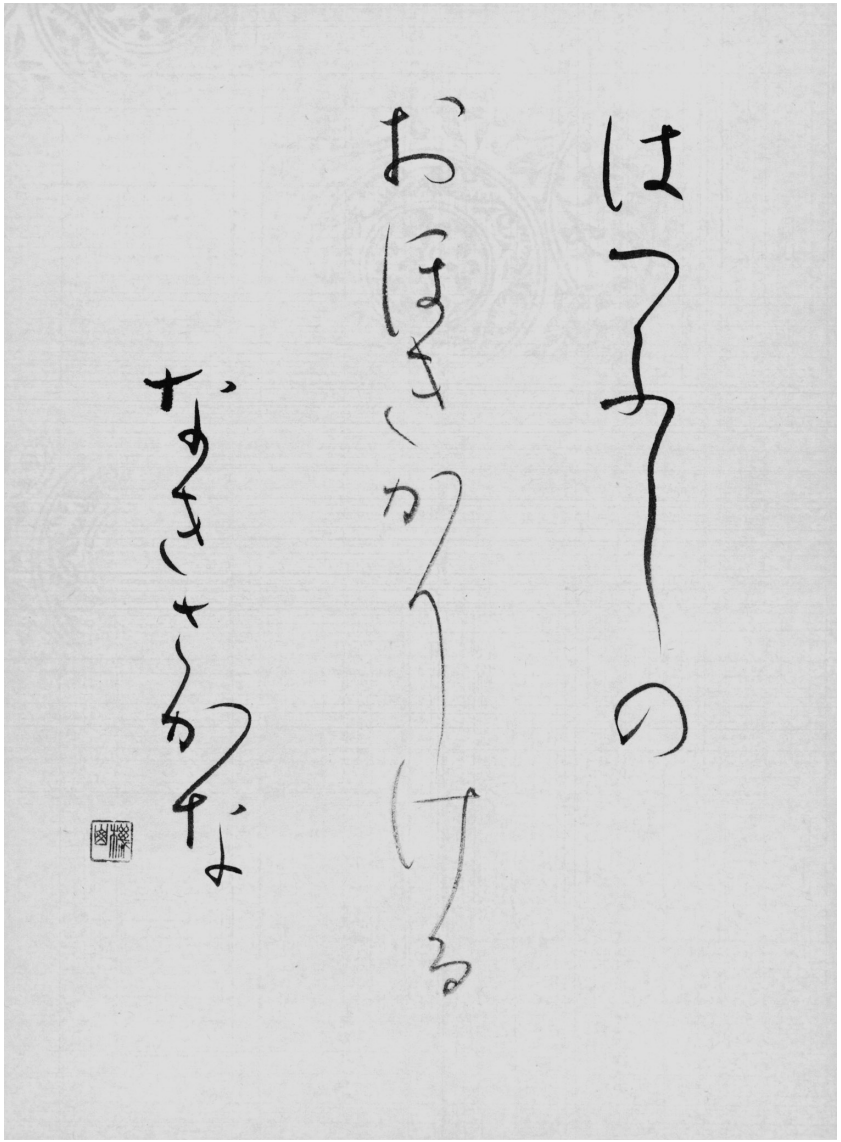
〔出典〕孔子廟堂碑（626～633）　〔筆者〕虞世南（558～638）

〔読み〕（玄珪乗石（げんけいじょうせき））の尊（そん）、朱戸渠門（しゅこきょもん）（の錫（せき））をもって、

一般部毛筆かな課題

締切り　1月25日（必着）

新入から1級まで



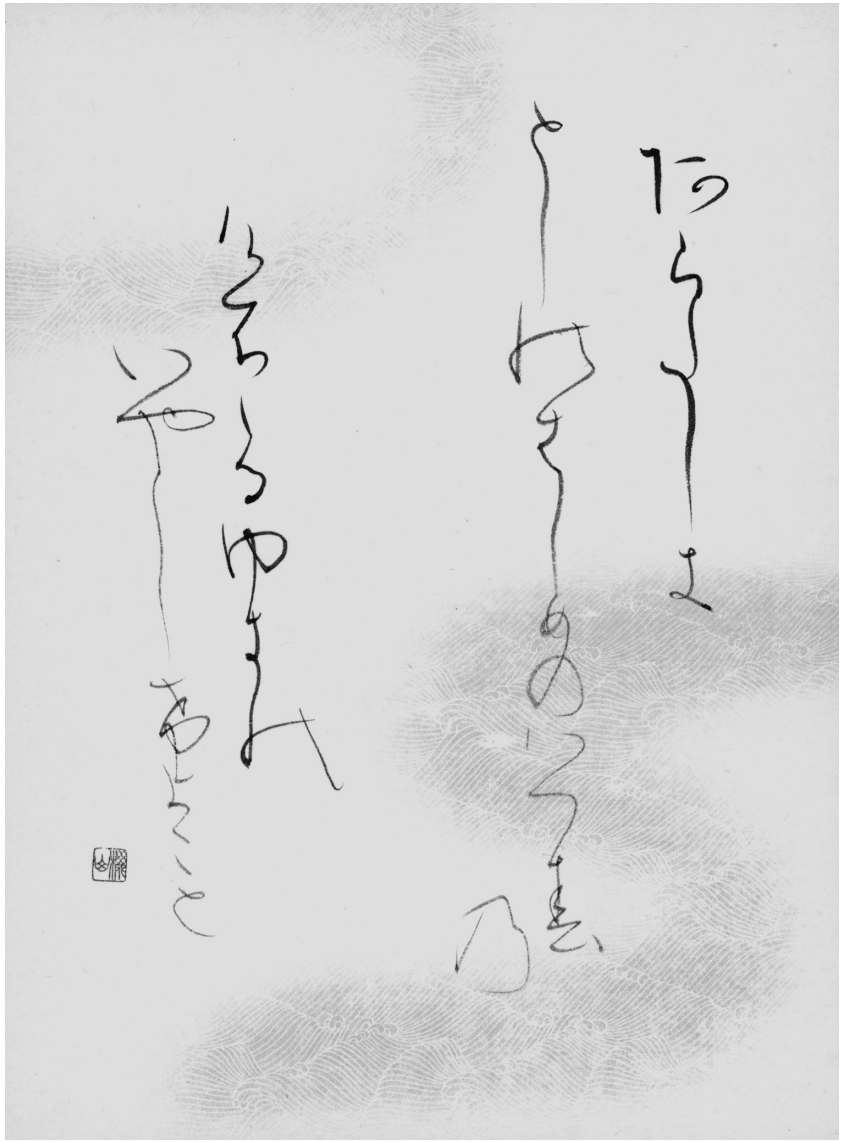
浅井機山先生書

初富士の大きかりける汀かな

〔出典〕富安風生

〔句意〕元旦の晴れわたった空に初富士がくっきりと姿を現わす。それは思いがけないほど大きく、あざやかに迫ってくる。

準初段から師範まで



阿良多支とし能者じ新しき年の始めの初春の八つ乃介不、ゆ支能希よごとと今日ふる雪のいやしけ吉事

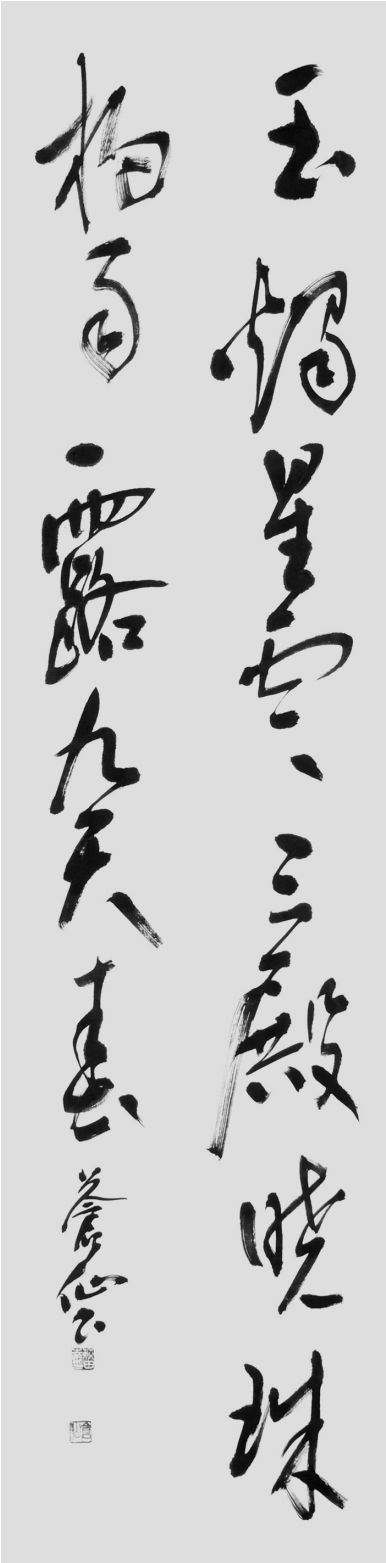
■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

〔出典〕万葉集　大伴家持

〔歌意〕新しい年のはじめに当る初春の、今日を降る雪が積もるように、いよいよ重なってこい、よい事が。

一般部毛筆条幅課題

締切り　一月二十五日（必着）　半　切（一三六㎝×三五㎝）



荻田蒼仙　書

玉燭星雲三殿暁
珠杓雨露九天春
趙甌北

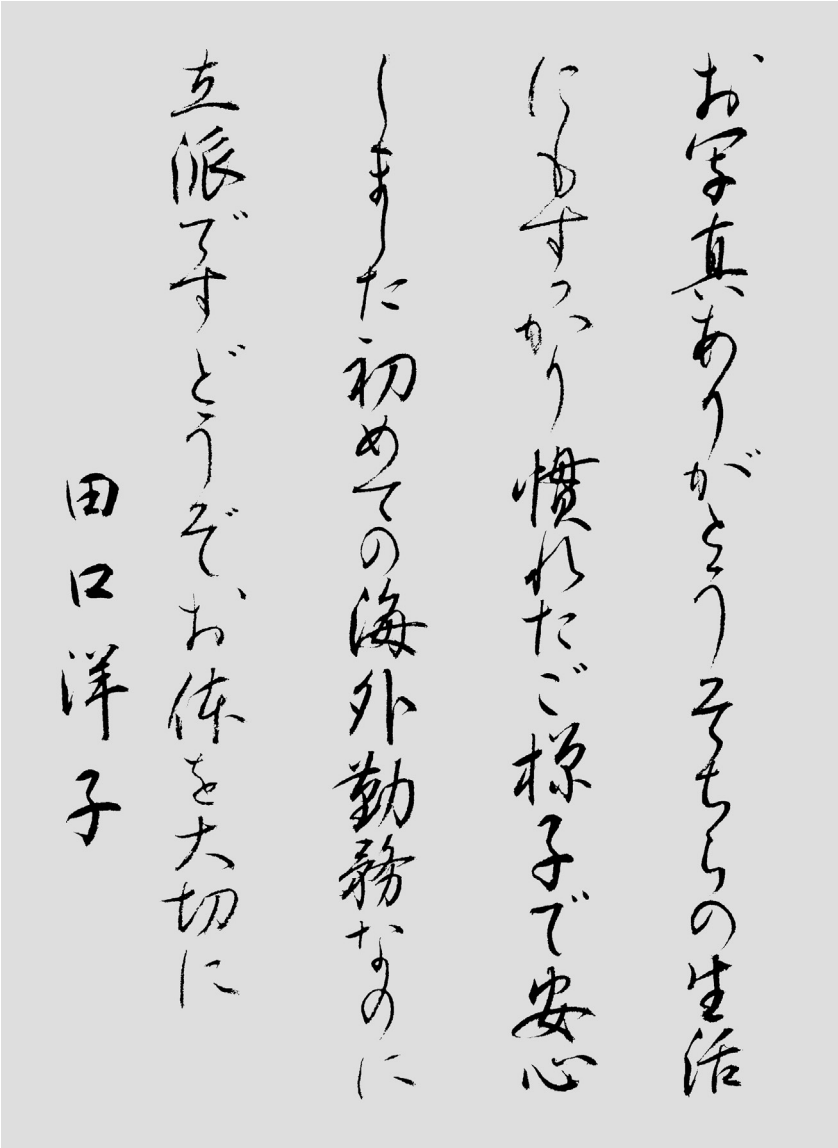
〔大意〕四時の気候と調和する星雲は三殿の夜明けにあり、北斗の第五より第七に至る星の露は満空の春をなしている。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

〔条幅解説〕今年も線の追求をめざします。書は線です。線は無限です。勁い線、しなやかで弾力のある線、艶っぽい線……そしてその線に人生そのものが表れるとすれば、未熟な私は、自己を磨き高める努力を疎かにしてはならないと思っています。

一般部毛筆細字課題



樋田玲華　書

半紙（３３４㎜×２４０㎜）

・お写真ありがとう　そちらの生活
・にもすっかり慣れたご様子で安心
・しました　初めての海外勤務なのに
・立派です　どうぞお体を大切に

（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。

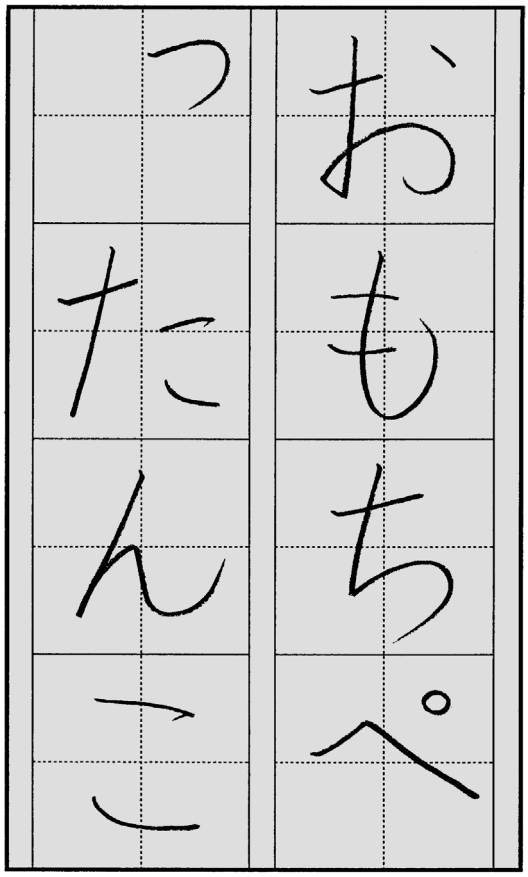
■成績（天位～5等）は、評価により毎月変わります。

■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

教育部硬筆課題

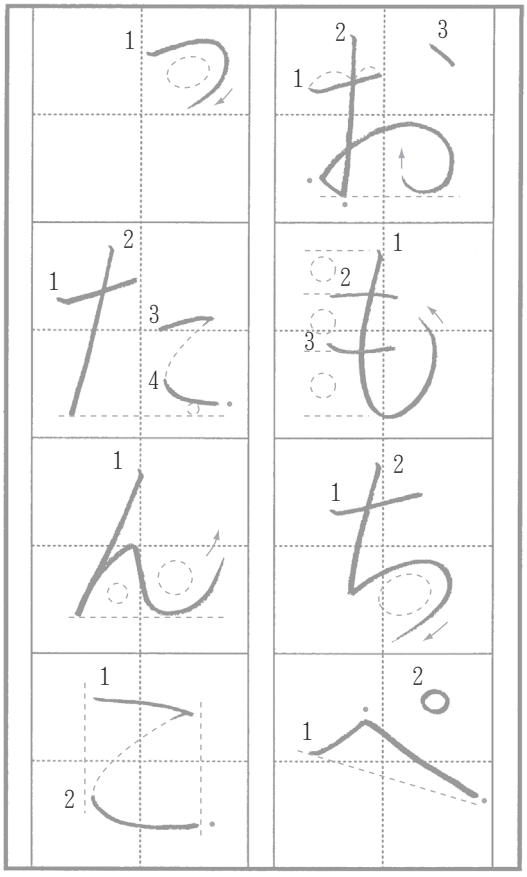
しめきり　1月25日（必着）

ようう年



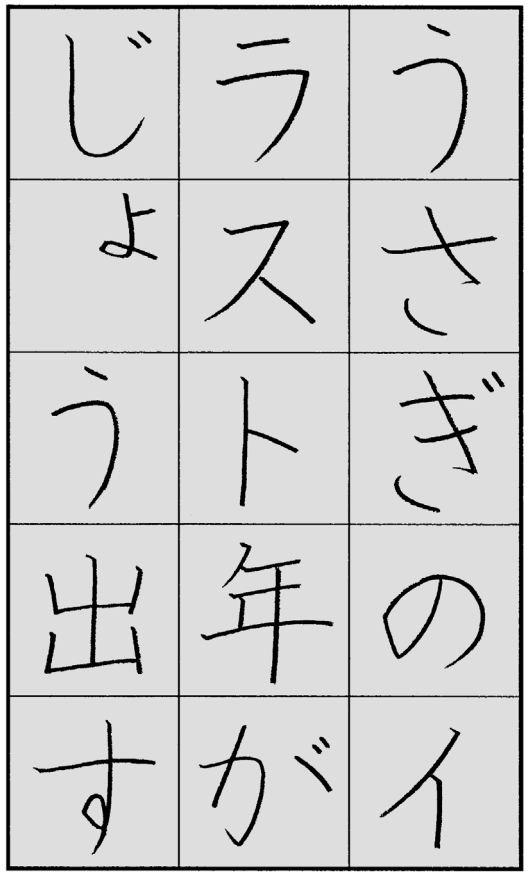
★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング（なぞってかいてみよう）



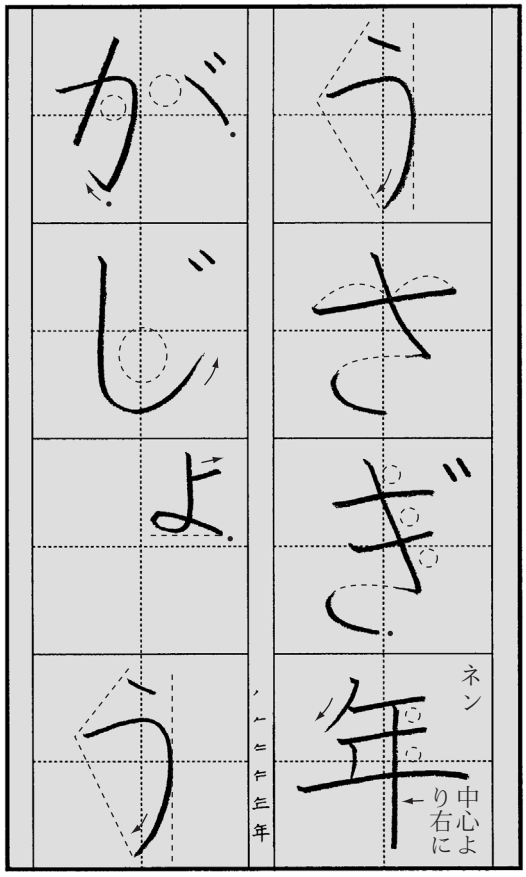
〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

小一年



（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上



新入〜1級

小三年まで　三宅容玉書

教育部硬筆課題（きょういくぶこうひつかだい）

しめきり　1月25日（必着）

小二年　準初段以上

母とはつ市で買いものをした正月

新入〜1級

はつ市（いち）で買（か）いもの

〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

小三年　準初段以上

湖面にも雪げしきがうつり美しい

（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入〜1級

湖（コ）面（メン）に雪（ゆき）げしきが

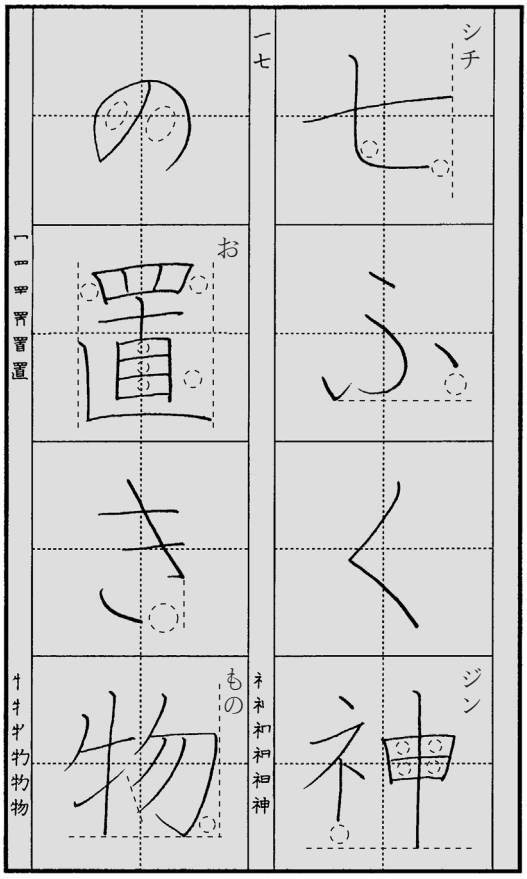
教育部硬筆課題

しめきり　1月25日（必着）

小四年

部屋に七ふく神の置き物をかざる

準初段以上



新入～1級

〈用具〉自由（黒色に限る）

小五年

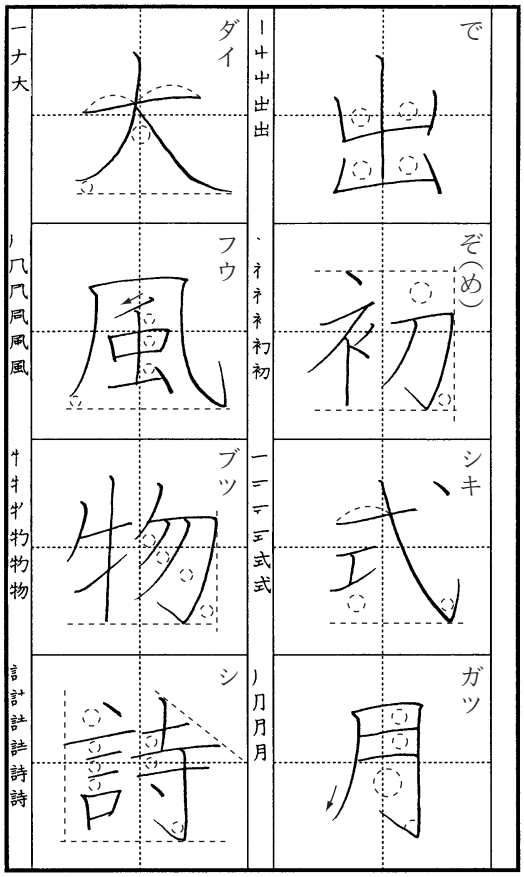
出初めは式

正月の一大

風物詩です

（全員）

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。



解説（よく見て習いましょう）

小四以上　須田一葉書

教育部硬筆課題

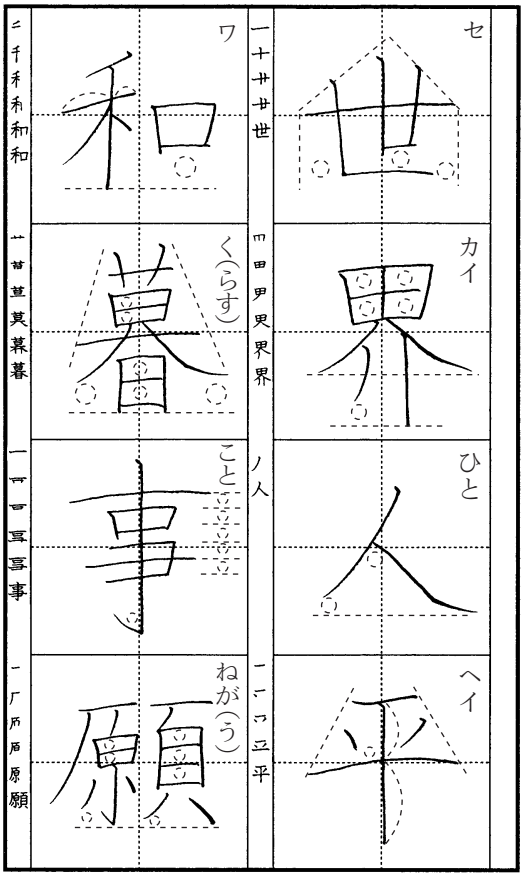
しめきり　1月25日（必着）

小六年

世界の人が
平和に暮ら
す事を願う

（全員）

解説（よく見て習いましょう）



〈ようぐ〉自由（黒色に限る）

中一年（楷書）

人の幸福を
祈る豊かな
心育てよう

中二・三年（行書）

日々精進し
希望輝く春
を迎えよう

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

こどものひろば

しめきり　1月25日（必着）

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小三年以下の課題　伊藤由光書

寒い日に
家族でかこむ
温かいおなべ
ハフハフアチチ
おいしいね

◎お手本はえんぴつ使用

▼小四年以上の課題　小木曽花清書

美しい富士山の
えがかれた
近所の銭湯が
祖父は
大のお気に入り

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
一、成績は評価により毎月変わります。
一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。**貼っていない方は新入とみなします。**

教育部毛筆課題

しめきり　1月25日（必着）

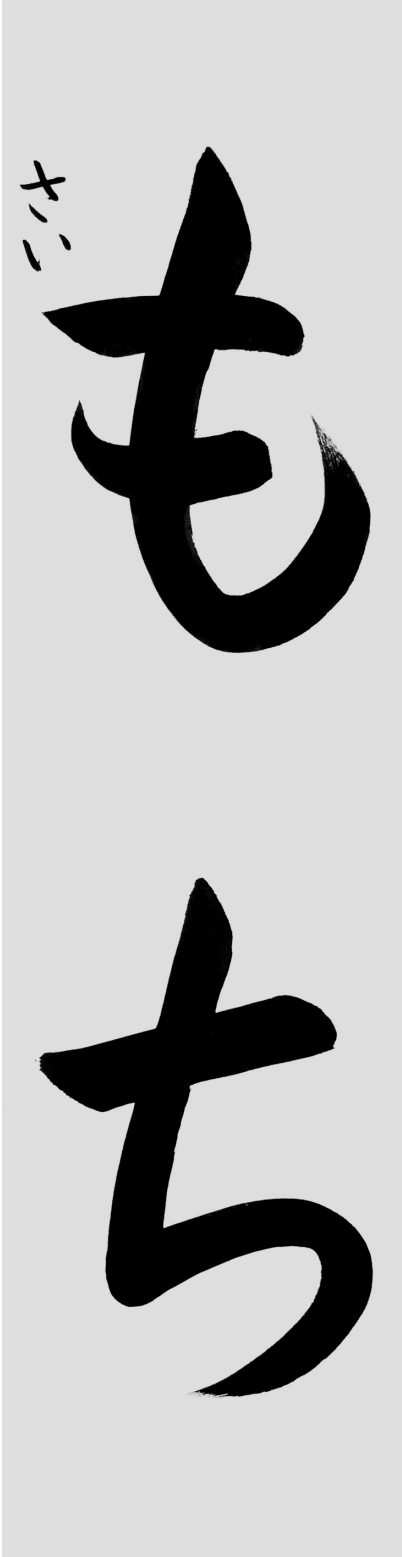
小二年

玉樹小華書

小一年

玉樹小華書

よう年



玉樹小華書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆１月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切４分の１（68cm×17.5cm）に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

教育部毛筆課題

しめきり　1月25日（必着）

小　五　年

水野香竹書（みずのこうちく）

小　四　年

水野香竹書（みずのこうちく）

小　三　年

水野香竹書（みずのこうちく）

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆１月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切４分の１（68cm×17.5cm）に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

教育部毛筆課題

しめきり　1月25日(必着)

中二・三年

奥村暢之書

中一年

奥村暢之書

小六年

奥村暢之書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1（68cm×17.5cm）に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。